

令和4年5月24日

(社) 地図協会

令和3年度（2021）事業報告

一般社団法人地図協会の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業執行状況を報告します。

I 地図の利用・普及および地図情報の発展に資する事業（実施事業）

1. 「測量の日」関連事業

国土地理院関東地方測量部および当協会を含む関係団体で構成する、「測量の日」東京地区実行委員会が主催して「くらしと測量・地図展」を例年6月上旬に、新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて開催していたが、令和3（2021）年度上半期は、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、東京都においては緊急事態宣言、まん延防止等重点措置のいずれかが4月12日より9月末日まで発出される状況となり、令和3年度の「くらしと測量・地図展」は、中止となりました。

2. 「地図展」の開催

地図展は、広く国民に地図を通して国土や地域について理解と親しみを深めていただくとともに、より一層地図に親しみ、地図を利用していただくことを目的に、毎年一回全国の主要都市で開催しています。

令和3年度は、例年通り一般財団法人日本地図センターを中心に当協会を含む関係7団体の「地図展推進協議会」主催で、今回は、「神戸から見る日本の国土と海」をテーマとして、水路測量150年の節目の年に、陸海の地図の輝かしい歴史を辿りながら「海洋国家日本」を「港町神戸」を中心に 地図・海図とその作成のための測量の実像と可能性について紹介します。

第54回地図展 地図展2021 水路測量150年記念 神戸から見る日本の国土と海

（令和3年10月28日（木）～11月1日（月） 場所：神戸阪急 本館9階 催場）

当協会は、主催団体の一員として協力しました。

3. 児童生徒地図作品展の後援・表彰及び地図教育支援活動の推進

1) 広島県地理作品展運営委員会より、「第60回地図並びに地理作品展」後援名義使用について申請があり、地図協会賞と副賞を寄贈しました。

2) 鳥取県地域社会研究会より、「第23回、児童生徒地域地図発表作品展」後援名義使用について申請があり、理事長賞と副賞を寄贈しました。

3) 札幌市教育地図研究会より、「第42回札幌市児童生徒社会研究作品展」後援名義使用について申請があり、特別賞と副賞を寄贈しました。

4) あこう絵マップコンクール実行委員会より、「あこう絵マップコンクール2021」後援名義使用について申請があり、理事長賞と副賞を寄贈しました。

4. 一般の方々へホームページから「月刊 地図の友」の発信

国土地理院発行の基本図（1万、2.5万、5万分1地形図、20万分1地勢図、小縮尺図等）及び数

値地図（電子地形図25000等、数値地図（国土基本情報）、標高データなど）の令和3年4月～9月までの新刊情報を「新刊刊行」としてまとめ、情報提供しました。

5. ホームページの更新

当協会のホームページについては、月1回の情報更新の継続に加えて、内容の充実を図るため、定例の業務執行会議において継続検討しています。

6. 感謝状の贈呈

令和3年国土地理院長表彰者として、株式会社マップテクノ代表取締役仙台安齋信行氏を推薦し、受賞されました。（表彰式 開催日：令和3年7月19日 場所：国土地理院講堂）

II 政府刊行地図等の販売に関する事業（その他事業）

1. 政府刊行地図等の販売

国土地理院刊行の地形図等及び数値地図の令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日まで）の販売状況は、次のとおりです。

新刊面数は、2万5千分の1地形図（多色刷）328面、でした（4月30面、5月30面、6月30面、7月29面、8月31面、9月32面、10月32面、11月16面、12月16面、1月16面、2月33面、3月33面）。

1) 地形図等販売状況

区 分	令和3年度（A）	前年度（B）	前年度比（A/B）
1万分の1地形図	3,200枚	3,269枚	0.97
2万5千分の1地形図	179,742枚	168,271枚	1.07
5万分の1地形図	35,159枚	30,834枚	1.14
20万分の1地勢図	6,286枚	5,474枚	1.15
その他	659枚	589枚	1.12
計	225,046枚	208,437枚	1.08

2) 数値地図販売状況 (CD-ROM)

区 分	令和3年度 (A)	前年度 (B)	前年比 (A/B)
2,500 (空間データ基盤)	1枚	4枚	0.25
25,000 (空間データ基盤)	1枚	1枚	1.00
25,000 (地図画像)	40枚	113枚	0.35
50,000 (地図画像)	43枚	99枚	0.43
200,000 (地図画像)	6枚	14枚	0.43
5mメッシュ (標高)	1枚	1枚	1.00
10mメッシュ (火山標高)	—	—	—
50mメッシュ (標高)	—	—	—
250mメッシュ (標高)	3枚	2枚	1.50
25,000 (行政界・海岸線)	—	—	—
25,000 (地名・公共施設)	—	—	—
500 (総合)	2枚	1枚	2.00
25,000 (土地条件)	11枚	9枚	1.22
5000 (土地利用)	15枚	21枚	0.71
計	123枚	265枚	0.46

2. 「巡検の旅」の開催

地図等の普及啓蒙及び地図と実際の検証を目的として、昭和49年度(1974年)から、地図に親しむ巡検の旅を実施していましたが、令和3(2021)年度上半期は、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、東京都においては緊急事態宣言、まん延防止等重点措置のいずれかが4月12日より9月末日まで発出される状況となり、令和3年度の「巡検の旅」は昨年同様に中止としました。

3. 定例の業務執行会議等の開催

関係理事及び監事を招集して、令和3年4月～令和4年3月まで毎月原則第3週火曜日に定例の業務執行会議を開催して、事務局事務の運営を以下のとおり実施しました。

6月15日(火) 第1回定例会議 Web会議

7月20日(火) 第2回定例会議 Web会議

8月24日(火) 第3回定例会議 Web会議

- 9月21日(水) 第4回定例会議 Web会議
10月26日(火) 第5回定例会議 Web会議
11月16日(火) 第6回定例会議 Web会議
12月21日(火) 第7回定例会議 Web会議
1月18日(火) 第8回定例会議 Web会議
2月16日(火) 第9回定例会議 Web会議
3月15日(火) 第10回定例会議 Web会議

主な審議事項は次のとおりです。

第1回定例会

1. 新役員の法的手続きについて(法務局への登記申請)
2. 役員の作業分担について
3. 新役員の国土地理院及び関係団体への挨拶
 - 1) 国土地理院幹部への挨拶
 - 2) 関係団体への挨拶等(書面で挨拶状を送付)の文案

第2回定例会

1. 地図の販売についての課題
 - 1) 地図販売店の現状と今後の維持発展するための方策
 - 2) 地図教育分野への紙地図の利用の拡大方策
 - 3) 地図センターと連携しながら、どう流通体制を確保したらよいか
 - 4) 地図の紙地図の普及啓発について、国土地理院からの協力を確保

第3回定例会

1. 地図の販売についての課題
 - 1) 地図販売店向けの対策
 - 2) 地図教育分野への紙地図の利用の拡大方策
・図書館へのアプローチ、教員向け、協力者の獲得
 - 3) 地図センターとの連携(流通体制の確保)
 - 4) 地図の普及啓発について(国土地理院からの協力)

第4回定例会

1. HP更新について
2. 叙勲候補者のリスト化
3. 地図の販売についての課題
 - 1) 地図販売店向けの対策(販売店の現状把握)
 - 2) 地図教育分野への紙地図の利用の拡大方策
(図書館へのアプローチ、教員向け、協力者の獲得)

- 3) 地図センターとの連携（流通体制の確保）
→10月1日14時半からの開催（荒天により延期）
10月25日14時半からの開催
- 4) 地図の普及啓発について

第5回定例会

1. 地図の販売についての課題
 - 1) 地図販売店向けの対策（販売店の現状把握）
 - ・アンケート調査の要望書提出 国土地理院総務課長宛
 - 11月1日（火）13時30分から意見交換会の実施
 - 2) 地図教育分野への紙地図の利用の拡大方策
→意見交換会を踏まえ、協会としての具体的な行動計画を作成する
 - 3) 理事会開催について
令和3年11月30日（火）14時から開催する

第6回定例会

1. 地図の販売についての課題対応
 - 1) 地図販売店向けの対策
 - ・会費受領状況についての確認
→未収会員に対しての催促状送付の前に会員リストの更新を行う
→過去の未納会費の扱いについては今後の検討課題とする。
 - 2) 地図教育分野への紙地図の利用の拡大方策
 - ・地形図のパッケージ化（地理院との意見交換会での話題）
 - ・図書館への地形図配備
 - ・教育分野（共通一次への採用などの可能性）
 - 3) 地図センターとの連携（流通体制を確保）
 - ・今後の地図センター殿との継続的な交渉と協力関係の構築
 - ・求める成果と実現に向けた、問題点の洗い出
 - ・問題点の課題（具体）化（タスクに落とし込み、スケジュール作成）
 - 4) 地図の普及啓発について（国土地理院からの協力）
 - ・小中図書館・公共図書館への地形図の常備
 - ・問題点の課題（具体）化（タスクに落とし込み、スケジュール作成）
→具体的な行動（地形図のパッケージ化など）を起こすことを確認した。

第7回定例会

- 1) 会費受領状況について（会員移動の確認）
- 2) 会員増募
 - ①個人会員
 - ②賛助会員

③普通会員

- 会員メリットを示す必要がある。例えば、会員店での地形図割引購入等。
- 地図センターと連携し、具体的にどう進めていくかは継続課題となった。

第8回定例会

1) 会費受領状況について4店舗を再調査

2) 地図教育分野への紙地図の利用の拡大方策

- 教育関係者へ授業の場での地形図の活用を要望する。
- 以前作成した地形図作成の手引きである Dr.トポ（映像）を改訂し再活用することを検討する。
- 地図の友を再編集し地図の友アーカイブを再発行もしくは配信することを検討する。

3) 会員増募

①個人会員

- 会員を増やすためには地図協会に属するメリットが必要、具体策については継続協議。

②賛助会員

- 地図協会の活動に賛同する企業・組合を探す。
- 測量関連団体の事務局長に賛助会員への打診。
- 地図協会の活動目的を明確にする必要がある。（スローガンの設定）
 - …「地図教育普及のため学校・図書館への地形図常備の推進」
 - …「地理学習の理解度向上のため教育現場での地形図使用の普及」

③普通会員

- 会員を増やすためには地図協会に属するメリットが必要、具体策については継続協議。

第9回定例会

1. 事業計画について

- 方針考え方を統一し、成果のある具体的な活動計画として事業計画を作り上げるようになった。
- 会員増募についても、賛助会員など会費を払ってもらえる会員をどう増やすかが大事。

2. 地図教育分野への紙地図の利用の拡大方策

- ・教材の提供（地形図作成の手引き（Dr.トポ）を検討）
- ・地図の友の再編集・地図の友アーカイブの配信を検討

3. 図書館配備五か年計画と図書館での紙地図の流通状況の実態調査

第10回定例会

1. 理事会及び総会の開催時期並びに上程議案の検討

- 理事会開催方法についてはリモート会議とし、総会は書面によって評決を行う。

2. 国土地理院院長表彰の検討

- 令和令和四年度の推薦者は有限会社沖商店及び峰村理事に決定した。

3. 令和四年度事業計画（案）と予算案の検討

4. 地図教育分野への紙地図の利用の拡大方策

- 東京都中学校社会科研究会佐藤会長と意見交換(3/2)
- 公益社団法人日本図書館協会海老根事務局長と意見交換(3/10)

→図書館地形図配備に係る今後の連携について

4. 対外活動等

- ① (一財) 地図センター殿との意見交換会 10月25日(月) 14:30~16:30
- ② 明治大学(宇根先生) 地理学科30名の校外学習(地図会社) 見学協力
11月2日(火) 13:00~16:00
- ③ 国土地理院殿との意見交換会 11月10日(水) 13:30~16:00
- ④ 昭文社広報との意見交換(地図愛好者層の拡大・SNSでの協力等)
11月24日(水) 14:00~15:00
- ⑤ 日本教育新聞社殿へのヒアリング(教育現場での地形図等の地図教材の利用)
12月3日(金) 13:00~14:30
- ⑥ 日本大学ト部先生へのヒアリング(地理必修化と地形図等教材の指導要領との関係)
12月7日(火) 11:30~13:00
- ⑦ KNT 事業推進本部との意見交換(高校:修学旅行と授業教材の地形図の相互活用)
- ⑧ 地図調製技術協会伊藤事務局長との意見交換(地理必修化と地形図等教材)
12月23日(木) 13:30~15:00
- ⑨ 明大・早大(宇根先生) 地理学科30名の校外学習(地図会社) 見学協力
12月24日(金) 13:00~16:00
- ⑩ 全測連田崎事務局長(表敬訪問)
1月24日(月) 14:00~14:30
- ⑪ 地図センター岩館専務理事(図書館整備五か年計画情報交換)
1月26日(水) 14:30~15:00
- ⑫ 八重洲ブックセンター 木本GM 佐藤本店総店長(建替計画に伴う地形図の取り扱い)
2月8日(火) 14:00~14:30
- ⑬ 東京都中学校社会科研究会佐藤会長と意見交換(3/2)
- ⑭ 三省堂書店神保町本店杉本本店長(建替計画に伴う地形図の取り扱いを協議)
- ⑮ 公益社団法人日本図書館協会海老根事務局長と意見交換(3/10)

以上